SHINSHU UNIVERSITY INNOVATIVE RESEARCH & LIAISON ORGANIZATION

SUIRLO NEWS

2017.09.06
VOL. 05

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構［サイロ］

CONTENTS

産学官連携
▶01 第４回信州大学見本市２０１７ 開催報告
▶02 第 11 回信州大学ものづくり振興会フォーラム 開催報告

研究推進
▶03 文部科学省 地域イノベーション・エコシステム形成プログラムに採択 報告

次代クラスター研究センター
▶04 航空宇宙システム研究センター シンポジウム＆技術展示会 開催告知
▶05 社会基盤研究センター キックオフシンポジウム 開催報告 そもそも大学の人間にブランドなんてわかるんですか？

その他
▶06 SUIRLO メンバー紹介
▶07 マレーシアサテライトオフィス開設 報告

▶01 産学官連携

第４回 信州大学見本市 2017 を開催！

平成29年８月21日（月）、「第４回信州大学見本市～知の森総合展２０１７～」を伊那市役所多目的ホール及びロビーにおいて開催しました。

信州大学見本市は、社会共創の一環として、本学の特色ある研究を地域社会に発信し、地域イノベーションの推進を図ること。また、企業、自治体、地域の皆様と本学教職員・学生との情報交換ができる展示会として開催しました。

見本市当日は、各キャンパスで活動する研究者らが一堂に会し、特別展示を含む13カテゴリー、計90ブースの出展をいただきました。

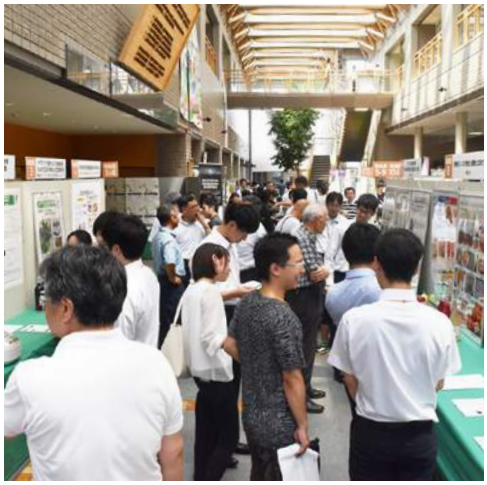
県内外の企業をはじめ、行政、金融関係者、一般市民、学内関係者など、約４４０名の方にご来場いただきました。特に市役所での開催となった今回は、役所に手続きに訪れた一般市民の方が気軽にお立ち寄りいただける場面が多く見られました。

また、普段は顔を合わせることの少ない異分野の学内研究者同士の情報交換も活発に行われたことと思います。

これまで、本学のキャンパスが所在する長野市、松本市、上田市で開催しました。今年の見本市を伊那市で開催でき、長野県の様々な地域で本学の活動をたくさんの方に知っていただけたと思っています。

最後に、見本市へ出展いただいた方、実行委員の方に、この場をお借りし感謝申し上げます。

産学官地域連携課　山崎　守雄



▸02 産学官連携

第11回信州大学ものづくり振興会フォーラムを開催しました

産学官連携・地域総合戦略推進本部
手塚　吉彦

去る7月7日（金）に、信州大学ものづくり振興会主催「第11回ものづくり振興フォーラム」を長野（工学）キャンパスのSASTecに於いて開催しました。会員企業：56社／団体、特別展示：9社／団体、大学：9研究室／センターにご出展頂き3階の会場を埋め尽くしたほか、1階ロビーでも省エネカー、EVカーや階段昇降用ロボットなどが展示されました。当日は336名の皆様にご来場いただき盛況なフォーラムとなりました。

今回のフォーラムでは、ものづくり振興会会員企業の展示や工学部の共同研究センターや研究室を紹介する従来の展示コーナーに加えて、初の試みとして地域企業と工学部教員との共同研究成果を発表する特別展示コーナーを設けました。当コーナーでは大学の基礎研究が製品となり社会に還元された成功事例を紹介し、産学関連の重要性を再確認していただける良い機会であったと思います。

今後も大学の有するシーズと地域企業のニーズとのマッチングが推進され、産学連携による付加価値の高いものづくりの振興を図って頂ける魅力的な催しとなる様、取り組んでまいります。最後になりましたが、本フォーラムの開催にあたりご協力を頂きました皆様に、御礼を申し上げます。

第11回フォーラム　展示会の様子

第11回フォーラム　太田哲郎会長開会挨拶

▸03 研究推進

文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムに採択されました

学術研究支援本部
土井　達也

文部科学省が募集する「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」において、信州大学と長野県が共同で提案した『革新的無機結晶材料技術の産業実装による信州型地域イノベーション・エコシステム』が7月31日付で採択されました。本事業は、信州大学先鋭領域融合研究群の環境・エネルギー材料科学研究所、バイオメディカル研究所、国際ファイバー工学研究所の3研究所と長野県、長野県工業技術総合センター、長野県テクノ財団の連携により実施します。信州大学と長野県は地域科学技術による産業振興・集積の取り組みを、平成15年の文部科学省知的クラスター創成事業より継続的に実施しており、そのさらなる発展と波及を目指します。

信州大学の持つ無機結晶育成技術を核に、高性能な浄水器、長期間使用可能な人工関節、高性能リチウムイオン二次電池などの実現に向けた研究開発を実施します。事業プロデュースチームを新たに設置し、研究成果の産業展開・グローバル展開に向けた活動を推進します。これにより、研究成果の技術移転・ベンチャー企業創出・製品化を目指します。

長野県は「長野県ものづくり産業振興戦略プラン」において、健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通の次世代産業の創出をめざしており、本事業と高度に一致します。工業技術総合センターに各種試験評価機を導入し、研究開発を促進するとともに、研究会を設置し県内企業への大学発技術の波及・産業創出につなげます。

長野県知事定例記者会見が8月4日（金）に長野県庁において開催され、阿部守一（長野県知事）、濱田州博（信州大学長）、杉原伸宏（学術研究支援本部長）、武田基秀（特任教授）から、採択の報告および事業について説明がなされました。（写真参照）

本事業は2017年度から5年間実施される予定です。信州大学・長野県一丸となって大学発技術の事業化成功事例を創出して参ります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

長野県知事定例記者会見後の様子。左から武田特任教授、濱田学長、阿部知事、杉原本部長。

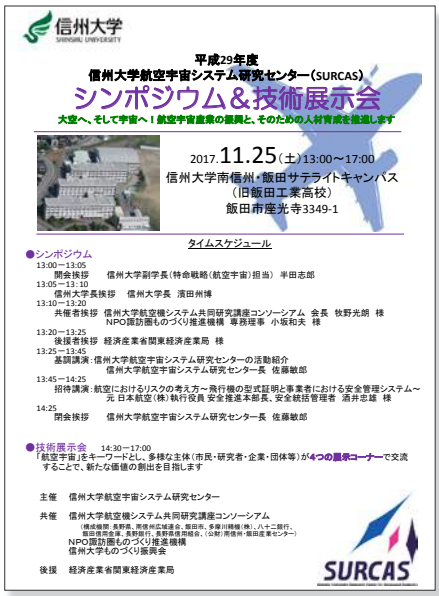
▸04 次代クラスター研究センター

航空宇宙システム研究センターシンポジウム＆技術展示会を開催します

航空宇宙システム研究センター長
工学系　教授
佐藤　敏郎

「信州大学の様々な専門分野の教員が保有する高度な関連要素技術（研究素材）の航空宇宙システム分野への展開」、「地域の特色・強みを活かした地域産業の基盤技術の活性化と人材育成の推進」をミッションとして設置された信州大学航空宇宙システム研究センターの取組を紹介し、併せて地域企業の技術を発信することにより、信州の地域発展と若手人材の育成の推進を図ることを目的として、信州大学航空宇宙システム研究センターシンポジウム＆技術展示会を平成29年11月25日（土）13時～17時に、信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス（飯田市座光寺）において開催いたします。

前半のシンポジウムは、研究センター長によるセンターの活動紹介並びに専門家による飛行機の型式証明と事業者における安全管理システムに関する招待講演が予定されています。後半の技術展示会は「航空宇宙」をキーワードとし、多様な主体（市民・研究者・企業・団体等）が交流することで、新たな価値を創り出すことを目指します。①センター教員の研究テーマ、技術開発紹介、②飯田下伊那地域14市町村（南信州広域連合）が主導して実施している「産業振興と人材育成の拠点整備事業」の紹介、③長野県地域の企業、長野県ほか関係団体の紹介と製品や試作品等の技術展示、④信州大学長野（工学）キャンパスで実施している「社会人学び直しプログラム」と、平成20年度から拠点化された諏訪圏サテライトキャンパスで実施している「社会人を対象とする人材育成プログラム」等紹介の4つの展示コーナーを設ける予定です。センター教職員との情報交換、産学官や企業相互の情報交換を通して、新たな連携の輪が広がり、新製品・新技術の開発や技術力の強化等の課題解決などにつながることも期待しています。地域市民の方々をはじめ多くの皆さまのご来場と、多くの企業・団体・機関の皆さまのご出展をお待ちしております。



▸05 次代クラスター研究センター

社会基盤研究センター　キックオフシンポジウム

そもそも大学の人間にブランドなんてわかるんですか？

社会基盤研究センター長
社会科学系 准教授
丸橋　昌太郎

社会基盤研究センターのキックオフシンポジウムが開催されました。当センターは、信州大学の全学部、全学系の研究者が集結して、オール信州の「学際力」で地域課題を解決していくことを目指しています。現実社会が抱える地域課題は、一つの分野では解決できないことも多く、多彩な分野からの検討がなされることでより望ましい解決につながることもあります。このような解決策を提案できることが当センターの強みですが、特定のテーマや課題を設定しているセンターと比べると、やや目的がわかりづらいという点にウィークポイントがありました。

そこで、こけら落としとなるキックオフシンポジウムでは、このウィークポイントを克服するべく、「わかりやすさ」や「鋭い質問」に定評のあるジャーナリストの池上彰氏に、コーディネーターを依頼して、事前打ち合わせなしの「知能格闘技」に挑戦することにしました。

各部門長が5分程度プレゼンした後に、池上氏に鋭く質問してもらうという構成を取りました。各部門のメンバーも部門長の後ろに控えて、いかなる質問にも答えられるという体制で臨みました。

象徴的な場面は、地域ブランド部門の林靖人部門長のプレゼンに対する第一投の質問に現れました。

第１部コーディネーター：ジャーナリスト　池上彰氏

池上：そもそも大学の人間にブランドなんてわかるんですか？

これに対して、林部門長は、堂々と研究者の役割を切り返し、「池上無双」に一歩も譲らない姿を見せつけました。また各部門を支えるメンバーも部門長が窮すると、直ちにマイクを取り、受けて立ちました。最後は池上氏に「信大ブランドを創っていくことを期待したい」とまとめていただき、センターの強みと目指す方向がわかりやすく伝わる機会となりました。

翌日の都議会戦における「池上無双」をみた我々は、なんて恐ろしい人に挑戦したのだろうと一堂口をそろえました。

昨年８月に着任し、繊維学部の担当として上田キャンパスに勤務しております。主な業務は競争的資金の獲得支援、企業との共同研究支援等ですが、先生方が研究しやすい環境作りのための様々な調整業務、産学連携のお手伝い等も行っております。「こんな研究がしてみたい」・「最適な研究費や研究シーズを紹介してほしい」などありましたら、是非ご相談頂ければと思います。今後も更なる研鑽を重ね、信州大学の発展に貢献していきたいと思いますので、皆様のご指導、ご協力よろしくお願い申し上げます。長野県伊那市出身。信州大学大学院総合工学系研究科修了。博士（農学）。

学術研究支援本部
宮原　大地

昨年９月に着任し、地域総合戦略推進本部研究員として勤務しています。これまで民間企業・経営者団体・行政と勤務をしてきました。其々の現場に携わる中、各々の異なる考え、方向性そして視野に触れ、多面的な角度から知識を得ることができました。また多くの方々と接し、幅広い人脈を得ることができました。これらを糧に地域や大学に溶け込み身近な存在として貢献をしていきたいと思います。信州大学が益々輝き、魅力ある大学であるよう、微力ではありますが力一杯努力をして参りたいと思います。皆様方のご指導とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

産学官連携・地域総合戦略推進本部
神田　孝文

▶06 SUIRLO メンバー紹介

昨年度までアクアイノベーション拠点（COI）の社会実装に向けた産学官連携の支援を行ってきました。COI担当として、企業との連携や知財管理、展示会出展やシンポジウムなどのアウトリーチ活動、報告書や計画書の作成などを担当していました。その経験を活かし、本年度より教育学部担当URAとして研究支援を行っています。産学連携に関することは勿論、競争的資金の獲得や、学部横断型の研究支援など幅広く先生方の研究活動に資するよう尽力してまいります。また、認知心理学を専攻してきた経験を活かし、そういった視点からもご支援できたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

学術研究支援本部
本間　喜子

信州大学の様々な研究知を地域に還元するとともに活用を図るため日々活動しております。昨年５月に着任し、やっと地域の方々と連携をとって精力的に動くことのできる土台が醸成されはじめました。

主な業務として地域協働型の人材育成プログラムである「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」のカリキュラム・コーディネートと、地域防災減災センターの運営に携わっています。双方とも地域の大学には非常に重要な分野であり、非常にやりがいを感じています。今後は地域との繋がりを活かし、信州大学の更なる発展のために邁進してまいります。引き続き皆様方のご協力よろしくお願い致します。

産学官連携・地域総合戦略推進本部
横山　俊一

▶07 グローバル教育推進センター マレーシア サテライトオフィス開設

平成29年7月24日（月）、マレーシアプトラ大学（以下、UPM）に、本学初の海外拠点となる「信州大学サテライト・オフィスin UPM」を設置しました。UPM本部棟内でオープニングセレモニーが行われ、現地企業や大使館に勤務している本学卒業生も参列し、信州大学・田中国際担当副学長とUPM・アイニ学長は、更なる教育・研究での連携を深めることを確認しました。これらの活動には、本学の卒業生であるUPM・ノルヒサム教授より多大なるご支援をいただいています。海外拠点が新たに設置されたことにより、両大学の交流がより一層加速していくことが期待されます。

グローバル教育推進センター　永田　浩一

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構［サイロ］
〒390-8621　長野県松本市旭 3-1-1　CSMIT 内
TEL:0263-37-2091　FAX:0263-37-3049
WEB サイト：http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suirlo

信州大学 SHINSHU UNIVERSITY